

敬天新聞社 社主様、編集長様 (親展)

突然のお便りで失礼いたします。当方福岡県内に事務所を持つ不動産業者です。業界人として理不尽を感じる件が有りましたので、お知らせ致したく投稿させていただきます。その問題を知ったのは数ヶ月前、熊本市内で親友である不動産会社社長と貸切バス&旅行の某会社社長と共に会食をした際、不明瞭な不動産取引が行われたという話を聞きました。場所は熊本県人吉市に在る華の荘リゾートホテル。M&Aと共に土地ホテルの売買も夏には終了したそうです。売主は貝原秀輝氏、買主は福岡に旅行会社を持つ海洋観光(株)の羅専務個人。その仲介をしたのが北九州予約センター(株)柴田芳江社長との事でした。始まりはこの春、福岡に営業所が在り旅行案内所業務を長く行っている北九州予約センター(株)の柴田社長が旅館ホテル売買に関する自身のブローカー人脈から情報を聞きつけ、中国に本部が在る海洋観光(株)の羅専務に仲介をしてホテル売買を成約させたとの事。勿論売買で得たお金の大部分は貝原社長自身が借入の返済に回したのですが、仲介ブローカーである柴田社長は長年の取引から海洋観光とは切っても切れない付き合いをしていて、海洋観光(株)の羅専務を通して売買代金とは別に現金で2千万の裏リベートを受領の上、貝原氏と山分けにしたというお話でした。これは同席し会食した某貸切バス&旅行会社社長が、熊本県バス業界の重鎮からこの秋直接に聞かれた話です。親友もおかしいとは思っていたそうですが、地元の不動産業者を全く使わなかったのはその裏リベートのやり取りがあったからです。また旅行会社社長の更なる話では、柴田社長が華の荘リゾートの副社長に就任し自身の愛人を総支配人に任命、北九州予約センターと同居所の長男が経営する(株)柴田工業という設備会社に改装コンサルタント業務を発注、複数社有るホテル取引業者から更に多額のリベートを受け取る算段だそうです。またこれまでの柴田氏の旅館ホテル M&A ブローカーの手口は、海外客相手の免税店をホテル売店に併設しそこで柴田社長自身が懇意にする免税店業者(日高と言っていた)を入れ、中国の旅行会社から得た手数料や多額の裏リベートを現金で受領し、税務申告無しに自身のポケットマネーにするやり口だそうです。また、この北九州予約センターという案内所は貸切バス業界でも悪名高く、国土交通省が指導した貸切バス運賃の下限を3万から4万と大幅に切った料金提示を海洋観光と組んで九州山口県の中小貸切バス会社に提示し、そこで断ったバス会社は徹底的に干して潰し、見せしめとした上で、仕方なくイエスと言った複数のバス会社から得た多大な儲けを海洋観光と折半し、申告無しで個人の懐に入れていたとの事。日本で順当に業務してきた地場の不動産会社との慣習を無視した上、平気で運輸局法令違反である下限運賃以下の価格を中小貸切バス会社に無理やり吞ませ平然とするこのような日本人悪徳ブローカーとその裏で結託している中国大陸出身のインバウンド旅行会社には敬天新聞様の記事を通じて、世間様からいづれ鉄槌が下りますようお願いしています。告発した私の動機も日本の不動産業界の常識が海外業者の M&A 売買で侵食される危機感からなのですが、商売の支障もあり名前は匿名で失礼致します。ただし信用頂けますよう不動産の親友が熊本県内金融関係の業者から手に入れた貝原社長の売買資料も同封します。この告発を厳しい記事にして下さい。